

越前市議会だより

第75号

令和6年(2024年)2月15日(木)

発行 編集 越前市議会

〒915-8530

福井県越前市府中一丁目13番7号

TEL:0778-22-3426

FAX:0778-23-3000

http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html



待望の新幹線 越前市へ

3月16日開業



令和3年12月 駅舎工事視察



令和4年10月 駅舎内覧(現場確認)



令和5年10月 入線セレモニー



令和6年1月 越前たけふ駅内覧会

3月16日、ついに北陸新幹線 金沢・敦賀間が開業し、越前たけふ駅から東京駅までの549kmが結ばれることとなります。越前たけふ駅への1日2往復の「かがやき」停車は、行政、経済団体、そして議会が一丸となって行った要望活動が実を結んだものです。昭和47年の基本計画決定以来、市議会では開業に向けた施策、開業後のまちづくりなどについて議論を重ね、調査研究を行ってきました。近年は、駅舎工事などの進捗状況に合わせ、現場視察を行い、昨年10月1日の新幹線入線歓迎セレモニー(越前たけふ駅)では、多くの市民とともに、市議会議員も新幹線車両を出迎え、今年2月には、議長をはじめとした議員が、かがやきの試乗を行いました。この開業をきっかけに、観光、産業において、多くの人が行き交うことで、本市に新たなにぎわいが生まれるものと期待しています。

本号の主な内容

- 2面 ◆代表質問
- 3面 ◆議決結果・議案審議
- 4・5面 ◆一般質問・特別委員会委員長報告
- 6面 ◆常任委員会委員長報告
- 7面 ◆市議会議員研修会 ほか
- 8面 ◆災害義援金の呼びかけ ほか
3月定例会の日程

12月定例会の概要

令和5年12月越前市議会定例会は、11月28日から12月21日までの24日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和5年度一般会計補正予算案など予算案7件をはじめ、越前市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正など条例案7件、指定管理者の指定など一般議案4件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決されました。

また、教育委員会教育長および公平委員会委員に関する人事案に同意しました。

12月定例会 代表質問

会派 郷働



こだま しゅんいち
小玉 俊一



■小中学校の再編成について

問 政府は異次元の少子化対策を打ち出しているが、依然として、少子化の進行が止まらない状況である。本市は小学校が17校あり、その中には複式学級の学校もある。生徒数は、年々減少することが想定されるが、6歳から12歳の多感な時期の子供にとって、1学年どれぐらいの生徒数が適当であるのか。また、学校再編成への取り組みは。

答 少子化の中、小・中学校区についての見直しも含めた検討をすることは、地域の変化に応じて大切であると考えている。子供にとっても年代の集団の中で成長していくことは重要であり、小・中学校の再編については、教育条件を良くする目的で編成すべきものと認識している。

■公共交通の今後について

問 3月16日の新幹線金沢・敦賀間の開業に伴い、新幹線、ハピラインふくい、福武線と南北に3本の鉄道が走ることとなり、経営という視点では、先行きが明るいとは言えない。公共交通にかかる市の今後の収支試算は。また、対策と方向性についての市の考えは。

答 本年度、市は地域公共交通に対する支援、補填等として、約1億9500万円程度の支出を見込んでいる。本年度からデマンド交通の実証を開始し、路線バスや市民バスと合わせた全体での必要経費の見直しや、財源の確保を検討する。各鉄道についても、イベントの開催や企画乗車券の販売など、利用促進を図っていく。

市民ネットワーク



すなだ りゅういち
砂田 竜一



■商工業の振興について

問 企業誘致や雇用・定住化を促進するため、企業立地支援制度の一層の充実や、企業進出を促すためのスピード感のある土地造成開発が行えるような新しい支援体制の構築を要望するが、市の考えは。

答 越前たけふ駅周辺での研究開発施設整備の補助額を充実するなど、県内トップクラスの企業立地促進補助金等の支援をしている。土地開発公社の解散以降、市は誘致の立場で地元や地権者、関係団体と調整している。今後も県と連携し、企業進出や増設のニーズに対し、フォローとサポートを行う。

■人口問題、定住化促進対策について

問 北陸新幹線の延伸開通を機縁として、本市の魅力や定住を考える人を増やす試みを要望するが、人口減少にかかる市の考えは。

答 本市は、子供の医療費無償化など充実した教育、子育て環境が整っており、これらの魅力を全国に発信し、移住やUターン対象者とのつながりを一層強化していく。同時に地域経済の活性化を目指し、新しい産業の創出や誘致、観光産業拡大プロジェクトなどにより、10万人の元気と活力の維持、拡大に努めていく。



会派 創至



あんりゅう さとみ
安立 里美



■気軽にに行ける「空き家相談対応窓口」を設置すべき

問 市内では各地区、各町内で空き家に対して様々な問題が出ている。利用可能な空き家から危険な空き家まで、取り組むべき課題は多い。市の助成の元、相談会を継続して実施すべきであり、さらに市民の誰もが常時、気軽に相談できる空き家対応の窓口が必要ではないか。

答 空き家相談や所有者が抱える問題解決、流通促進を図るため、様々な関係機関に働きかけ空き家対策プラットフォームの構築を目指している。このプラットフォームの事務局で、ワンストップの相談に応じる体制づくりに取り組んでいきたい。

■不登校児童・生徒への支援と相談室の充実

問 現在、特に中学校で不登校の生徒が増えている。全ての児童・生徒に学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えるべきだが、中学校における相談室や学習するための居場所が機能していない。学校の空き教室等を活用した学習室、校内教育支援センター」の設置などの取り組みが必要と考えるが、市の取組みは。

答 不登校や欠席の多い児童生徒に対して、一人一人に応じた多様な支援を行って行くことが重要である。学校内での相談室等を活用した学習の継続、学校外での居場所を活用した学習支援等、必要な支援を行っていく。

代表質問は、当初予算の編成を前に、各会派の政策提言・意見が反映できるよう12月定例会に実施しています。今回は5つの会派を代表して5人の議員が質問を行いました。その主な内容は次のとおりです。なお、詳細および他の質問については、二次元コードを読み取り、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

誠和会



おおくぼ けんいち
大久保 健一



■交通インフラによる地域振興について

問 国道417号、中部縦貫自動車道の整備が進むことによって、本市にどのような効果があり、人流・物流の拡大を図るうえで、どのような施策を実施するのか。

答 国道417号の開通により、冬季通行止め区間が解消され、福井県・岐阜県境を結ぶ安定的な交通が確保された。また、中部縦貫自動車道の県内区間開通により、災害時相互応援協定を締結している本県市や高山市へのルートが強化され、相互応援がより確実となる。観光面、物流・企業誘致の観点からも、特に越前たけふ駅周辺は、交通の一大結節点となることから、他市にはない時間的・地理的なメリットがあると考えている。

■地域福祉計画について

問 重層的支援体制整備事業における「参加支援」地域づくりに向けた支援」を強化せよ。

答 重層的支援体制整備事業における参加支援は、課題を抱えた人の社会参加を支援する取り組みであり、地域づくりは、高齢者、障害者、子供、生活困窮者など、各分野で実施しているつどいやサロン等の交流の場や居場所を活用する事業である。相談者に対し、「地域づくり」で生まれた居場所と当事者をコーディネートする「参加支援」を組み合わせて、一人ひとりに応じた支援を行っていく。例えば、生活困窮者や障害者の事業である就労体験や居場所を、ひきこもりの人も利用できるようにすることが考えられる。

一志会



しみず かずのり
清水 一徳



■国道417号開通と受け入れ体制について

問 花筐公園や和紙の里、万葉の里への交通サインの設置を要望したい。また、薄墨桜の縁があることから、月尾谷の山際に桜を植樹することで鳥獣害を防止する様な、景観あふれる道路に出来ないか提案するが、市の考えは。

答 国道417号の開通後、非常に混雑している状況にあり、標識等の案内についても必要性を認識している。武生インターや国道8号へのアクセスを踏まえて、県との協議を進めていきたい。桜の植樹については、月尾谷の山並みと田園風景は現状のまま素晴らしい景観だと考えるが、地元の声を聞きながら、景観づくりに対応していきたい。

■越前生漣鳥の子紙保存会研修施設の整備について

問 越前和紙バレーの創造が県の支援事業に採択され、産地の整備が進められる中、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す鳥の子紙保存会の研修施設も中長期的な展望を踏まえて整備すべきと考えるが、市の考えは。

答 鳥の子紙保存会の設立からおおよそ10年経っていることもあり、ユネスコ登録の実現を目指していきたい。研修施設については、県の支援を受けながら、必要な整備を進めていく。さらに観光資源としてのスケールアップにも取り組んでいく。

議案の議決結果

令和5年12月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第79号	令和5年度越前市一般会計補正予算(第7号)	総務/教育厚生/産業建設	可決(全員)
議案第80号	令和5年度越前市一般会計補正予算(第8号)	総務/教育厚生/産業建設	可決(全員)
議案第81号	令和5年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	教育厚生	可決(全員)
議案第82号	令和5年度越前市介護保険特別会計補正予算(第1号)	教育厚生	可決(全員)
議案第83号	令和5年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	教育厚生	可決(全員)
議案第84号	令和5年度越前市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	可決(全員)
議案第85号	令和5年度越前市下水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	可決(全員)
議案第86号	越前市職員の給与に関する条例等の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第87号	越前市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第88号	越前市国民健康保険税条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第89号	越前市福祉型児童発達支援センター設置及び管理条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第90号	越前市就学前教育・保育施設設置及び管理条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第91号	越前市都市公園条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第92号	越前市社会福祉センターの指定管理者の指定について	教育厚生	可決(全員)
議案第93号	武生中央公園の指定管理者の指定について	産業建設	可決(全員)
議案第94号	越前市金華山グリーンランドの指定管理者の指定について	産業建設	可決(全員)
議案第95号	越前市文化センター、越前市ふるさとギャラリー叔羅及び越前市いまだて芸術館の指定管理者の指定について	教育厚生	可決(全員)
議案第96号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第97号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第98号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		可決(全員)

12月補正予算

一般会計 14億3,263万7千円の補正予算

- ・住民税非課税世帯等支援給付金事業
- ・学校給食費物価高騰対策特別支援事業
- ・水道料金物価高騰対策特別支援事業 ほか

12月定例会 議案審議

その他の審議については、
2月掲載予定の
会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

補正予算審議

移住・定住による 人口増加に向けて

移住・定住促進事業

200万円

問 補正の理由は。

答 当初予算において、単身者1件60万円、2人以上世帯1件あたり100万円を2件、合計260万円を計上していたが、2人以上世帯に未成年者がいる世帯が移住した場合、未成年者1人につき、100万円加算される制度であり、今回、未成年者がいる世帯が移住する見込みとなったためである。

問 もう移住は決定しているのか。

答 ある程度具体的な話が進んでおり、今年度中に移住する見込みである。

チャレンジプロジェクト 事業の推進

越前和紙バレー創造事業

500万円

問 事業内容は。

答 1500年以上の歴史を持つ越前和紙は、日本一の品質・種類・量を誇ることから、持続可能な産業としてさらなる発展を目指すものである。また、和紙のシンクタンク機能も整備し、多様なクリエイターとの連携を通じてブランド力をさらに強化していきたいと考えている。

問 ハード事業で最大1億円とあるが、事業内容は。

答 越前生漉鳥の子紙保存会の研修施設や宿泊施設整備に対する支援、

和紙の里再整備などを現在検討している。

生活保護扶助費の主な 増加理由

生活保護事業

1億2196万7千円

問 増額の理由は。

答 今年度の入院件数が例年の2割増加したことが主な理由であり、医療扶助費として、7100万円の増額となっている。他には過年度の国庫負担金返還金1594万4千円などが計上されている。

12月定例会で採決された人事

教育委員会教育長の任命に同意

澤崎 秀之 氏(姫川二丁目)

公平委員会委員の選任に同意

浅井 純一 氏(本多二丁目)

年賀状等あいさつ状の 禁止について

公職選挙法により、議員が選挙区内に対し、年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されておりま
す。皆様のご理解
ご協力をお願い
いたします。



12月定例会 一般質問

12月定例会では、13人の議員が12月7日、8日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。顔写真横の二次元コードを読み取ると、それぞれの録画映像をご覧ください。

行政

市の財政状況について

令和6年度の予算編成方針が公表されたが、一般行政経費は前年度比95%以内での要求とすることが示された。厳しい財政状況の中、どのような事業に重点的な予算配分を行うのか。

問

令和4年度決算では、物価上昇の影響等により、経常収支比率、将来負担比率ともに厳しい数字となった。限られた財源の中で市民のウェルビーイングのために事業のスクラップ化、新たな財源づくりを推進していく。創出した財源を基に、企業誘致や観光を強化し、投資や消費を呼び込む事業を促進するほか、市民の安全・安心を最優先に対応していきたい。

他の質問項目

・教育行政について

・公共交通について

教育財産の有効活用を進めよ

問

小学校の水泳授業が市内2か所の温水プールに集約されることとなり、市内15の学校プールが不要となるが、解体費用は1つ当たり2千万円以上と聞いている。魚の養殖や太陽光発電など、民間に貸し出すことで有効活用することを提案するが、市の考えは。

答

プールは学校施設の一部であることから、その利活用については、施設管理や児童生徒の安全面など、慎重な対応が求められる。今後のプールの在り方を検討する中で、選択肢の一つとして考えていきたい。

他の質問項目

・交通事故減少にむけた早期ライト点灯運動について

市行財政システム改革プランの職員体制について

問

市役所窓口での市民への対応について、市民も職員もウェルビーイングであるべきだ。職員の意欲向上と共に、市民に対しての窓口サービスも向上するよう、対応策を伺う。

答

職員の接遇に関しては、毎年研修を開催し、能力向上に努めている。業務内容によっては対応が不十分であった場合も考えられるが、丁寧で適切な対応は、行政が市民等と信頼関係を築く上での基本的な所作であることから、引き続き、職員個々の能力向上に努めていきたい。

他の質問項目

・災害時の避難行動支援体制の構築について
・災害発生時の各町内での支援体制について

市行財政システム改革プランについて

問

全国の類似人口の自治体と比較すると、本市の職員数は、最低レベルである。市民の要望や業務が複雑化しており、職員の増員計画が必要と思うが、市の考えは。

答

各種施策を着実に進捗させ、新たな行政課題に適切に対応するには、現在の職員数では、不足していると感じている。プラン策定時の職員調査でも不足との意見が出ており、性別を問わず育休取得が一般化している中、職員の増員を図る必要性を認識している。今後、業務の効率化や民間活力導入を進めることで財政影響を抑えながら、長期的な視点に立った職員数の確保を進めていきたい。

他の質問項目

・デジタル田園都市構想推進戦略
・森林林業マスタープラン

会派 郷働

城戸 茂夫



誠和会

畑 勝浩



会派 創至

小形 善信



一志会

佐々木 哲夫



教育

期間限定ではない学校給食無償化の実施を

1月から3月まで小学校の給食費が無償化されるが、なぜ中学校は対象とされなかったのか。期間限定ではなく、全国で広がっている給食費無償化制度を本市でも実施すべきである。

問

限られた財源の中で、物価高騰で比較的多くの負担を強いられている小学生の保護者負担を軽減することを図り、期間限定で支援を考えた。さまざまな提言を受けながら、子育てのすばらしい越前市にしていきたい。

他の質問項目

・指定避難所の防災機能設備の確保状況と学校体育館のエアコン設置について
・国民健康保険税の県下統一への方向性にかかる市の見解は

学校給食の有機食材使用と無償化について

問

子どもの食の安全と食育から、給食に地元産農産物を多用し、ご飯は有機米にできないか。また、子育て支援の観点から、給食の無償化を。

答

地元食材は、重量換算で48.3%使用。学校給食のご飯は、有機米の生産がまだ少ないため、化学肥料を使わず、減農薬で栽培した米を使っている。また、小学生全学年の給食無償化には、約3億円が必要となるため、施策の優先順位も踏まえて考える必要がある。

他の質問項目

・教育行政について

諸派(日本共産党)

前田 修治



市民ネットワーク

土田 信義



会派 郷働

川崎 悟司



会派 創至

能勢 淳一郎



公共交通

少子高齢化社会における公共交通の今後

問

市民の足としての交通を確保することは必要であり重要であるが、費用対効果を無視することはできない。今後の方向性を伺う。

答

公共交通機関には、市民の移動手段の確保という一面と、交流人口を増やし地域の活力に繋げるという大きな側面があり、様々な公的支援が行われてきた。一方で利用者の減少や運転手不足、運行経費の増大に伴う市の負担増は大きな課題である。このバランスをどう取っていくか、様々な手法を組み合わせながら、最善となる方向性を検討していきたい。

他の質問項目

・空き家対策について

ハピラインふくい新駅「しきぶ駅」について

問

利用者増加のためにパークアンドライド駐車場の整備や、列車運行に合わせた「のろっさ」の運行ダイヤの改定は。

答

令和7年春の開業に向けて、駅西側の広場に5台のキスアンドライド駐車場を設け、ロータリーに2台の乗降場所を整備する計画。また、ハピラインふくいのダイヤを考慮し、のろっさ市街地循環南ルートの日や変更を検討する。パークアンドライド駐車場整備については、開業後の利用状況を見ながら検討したい。

他の質問項目

・しきぶ駅にトイレ整備を
・しきぶ駅東口への進入道路対策を
・子宮頸がんワクチンの現状と推進について

諸派(日本共産党)

前田 修治



市民ネットワーク

土田 信義



会派 郷働

川崎 悟司



会派 創至

能勢 淳一郎



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために
行う質問のことをいいます。

空き家活用

問 移住定住者増を図り空き家空き地の活用に繋げよ
本市のまちなかは、行政・教育・文化スポーツ・医療・公園等の施設が充実しており、神社仏閣も多い環境。新幹線開業もある中、さらに移住定住者増を図り、空き家空き地活用に繋げよ。

答 空き家対策に民間活力を導入せよ。
空き家の相談、所有者の抱える問題解決、空き家の流通促進を図るため、様々な専門機関や団体で構成する「空き家対策プラットフォーム」の構築を目指し、官民連携のもと民間活力を有効に活用し空き家問題に取り組んでいきたい。また、「空き家対策プラットフォーム」の窓口となるべき事務局については、民間事業者も想定しており、プロポーザルも視野に入れて選考することを想定している。

他の質問項目
北陸新幹線開業に伴う観光誘客等の課題について



会派 郷勲
近藤 郷勲
光広 みつひろ



誠和会
川崎 俊之



諸派(公明党)
桶谷 耕一



市民ネットワーク
大久保恵子



福祉

問 市地域福祉計画改定について
市地域福祉計画改定について、これまでどのように深化し、次の5年間でどのように推進していくのか、計画に示せ。

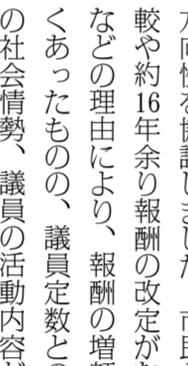
答 市総合計画に掲げている地域の人のつながり、自分らしくいられる居場所と多様な活躍の場の創出により、ウェルビーイングをめざしていく。高齢者のつどいやサロン、障がいのある人の地域活動支援センター、子どもや子育て世帯の地域子育て支援センターといった、既存の場所や居場所において、これまでは対象としていなかった人も交流し、活動することができるよう取り組んでいく。

問 不適切保育の対応について
虐待など不適切保育の報道が後を絶たない。相談体制の充実や保護者への周知チラシ配布、保育士に対するセルフチェックリストの配布・活用、施設長やリーダー層への研修や、ガイドライン作成など、しっかりとした対応を求める。

答 周知チラシを保護者全員に配布する。セルフチェックリストおよびガイドラインについては、本市の実情を反映した市独自のものを作成したい。4月には「市乳幼児教育・保育支援センター」を開設し、市内全ての園を対象に研修や交流を行うほか、各園をサポートする専門職を配置していく。

他の質問項目
福井鉄道福武線の負担割合について

他の質問項目
中小企業支援について
認知症施策推進計画の策定について



市民と議会との語る会 (白山地区)

問 議会活性化 特別委員会報告
本特別委員会は、令和5年12月15日に開催しました。本委員会では、令和5年11月に開催した「市民と議会との語る会」において市民からいただいた議員報酬のあり方に対するご意見を踏まえ、今後の方向性を協議しました。市民からは、他市との比較や約16年余り報酬の改定がなされていないことなどの理由により、報酬の増額に賛成の意見が多かったものの、議員定数との兼ね合いや、現在の社会情勢、議員の活動内容が見えないことなどによる反対意見や、慎重なご意見も多くありました。今後、いただいたご意見をもとに、さらに全議員で協議を進めていくこととなりました。

答 除雪対策について
高齢化が進む中、狹隘道路の除雪が地域の負担となっている。狹隘道路の除雪体制の仕組みを考えなくてはいけない時期に来ているのではないかと。また、オペレーター不足や人件費・燃料費の上昇を受け、除雪業者や地域住民の経費が増えている。狹隘道路の単価の見直しを。住民だけでは除雪が困難で、地域の負担となっていることは認識している。地域の実情を確認する中で、負担が少しでも軽減されるよう、庁内で検討を進めていきたい。また、燃料価格の上昇は、除雪作業にも大きな影響を及ぼすため、今後の価格動向に注視しつつ、除雪単価の算定を行っていく。

他の質問項目
文化県都のさらなる構築に向けて
市再犯防止推進計画について

議会活性化 特別委員会報告

公共交通対策 特別委員会報告

問 公共交通対策 特別委員会報告
本特別委員会は、令和5年12月18日に開催し、デマンド交通の調査研究のため担当課から説明を受けた後、市デマンド交通実証実験の車両に乗りし、市役所からあいばーく今立まで、越前たけふ駅で乗り継ぎし、乗車体験を行いました。担当課からは、市デマンド交通実証実験の登録者数に加え、利用者の意見について説明を受けました。市が実施した地元説明会での意見では、時間に縛られないのは便利という声がある一方で、乗り継ぎが面倒、運行する曜日を増やしてほしいといった意見があることでした。現場視察後の協議において、委員からは、夏の暑い日や冬の寒い日などのことを考えると、乗り継ぎポイントである共用停留所での対策や、タクシー事業者の経営を圧迫しないように共存することが重要である等の意見がありました。

答 除雪対策について
高年齢化が進む中、狹隘道路の除雪が地域の負担となっている。狹隘道路の除雪体制の仕組みを考えなくてはいけない時期に来ているのではないかと。また、オペレーター不足や人件費・燃料費の上昇を受け、除雪業者や地域住民の経費が増えている。狹隘道路の単価の見直しを。住民だけでは除雪が困難で、地域の負担となっていることは認識している。地域の実情を確認する中で、負担が少しでも軽減されるよう、庁内で検討を進めていきたい。また、燃料価格の上昇は、除雪作業にも大きな影響を及ぼすため、今後の価格動向に注視しつつ、除雪単価の算定を行っていく。

問 除雪対策について
高年齢化が進む中、狹隘道路の除雪が地域の負担となっている。狹隘道路の除雪体制の仕組みを考えなくてはいけない時期に来ているのではないかと。また、オペレーター不足や人件費・燃料費の上昇を受け、除雪業者や地域住民の経費が増えている。狹隘道路の単価の見直しを。

答 除雪対策について
高年齢化が進む中、狹隘道路の除雪が地域の負担となっている。狹隘道路の除雪体制の仕組みを考えなくてはいけない時期に来ているのではないかと。また、オペレーター不足や人件費・燃料費の上昇を受け、除雪業者や地域住民の経費が増えている。狹隘道路の単価の見直しを。



デマンド交通実証実験車

除雪

問 除雪対策について
高年齢化が進む中、狹隘道路の除雪が地域の負担となっている。狹隘道路の除雪体制の仕組みを考えなくてはいけない時期に来ているのではないかと。また、オペレーター不足や人件費・燃料費の上昇を受け、除雪業者や地域住民の経費が増えている。狹隘道路の単価の見直しを。

除雪

答 除雪対策について
高年齢化が進む中、狹隘道路の除雪が地域の負担となっている。狹隘道路の除雪体制の仕組みを考えなくてはいけない時期に来ているのではないかと。また、オペレーター不足や人件費・燃料費の上昇を受け、除雪業者や地域住民の経費が増えている。狹隘道路の単価の見直しを。



会派 創至
大佛 健一

常任委員会報告

総務委員会

空き家等の適切な管理を

問 今回の条例改正による変更点は。

答 所有者の責務として、空き家等の適切な管理義務に加えて、国、地方公共団体の施策に協力する努力義務が課される。また、空き家等の管理が不十分なため周囲に危険を及ぼす恐れがある場合に、危険を回避するための緊急安全措置について、所有者の同意を得ることなく実施することができるようになる。

問 所有者の同意を得ることなく緊急安全措置をとった場合の費用負担は。

答 緊急安全措置の内容は、緊急時の危険回避のための予防措置であり、原則、所有者に措置費用の請求をすることとなる。ただし、所有者において納付が困難な場合など、結果的に市の負担となることもある。

教育厚生委員会

小学校給食費のみの支援理由は

問 中学校給食やスクールランチへの支援が行われない理由は。

答 未就学児には保育料無償化の制度などがあるため、小学校に上がった後の学童保育などについて保護者の負担感が大きいこと、また交付金の額に限りがあることから、小学生保護者の負担軽減に集中して行うこととした。

問 中学生の保護者も物価高騰に苦慮しているのは同じである。理解を求める対応は。

答 保護者に文書を発出する準備をしており、しっかりと説明していく。

いまだて芸術館の長期的な改修計画は

問 施設改修にあたり、指定管理者から設備更新の要望はあったか。

答 空調や舞台設備などの更新時期が来つつあることは、認識している。限られた予算の中で、所管施設全体を見ながら計画的に進めていきたい。



いまだて芸術館

委託期間3年の理由は

問 社会福祉センタートレーニングルームの委託期間を5年から3年とする理由は。

答 トレーニングルームを含めた社会福祉センター施設全体の在り方について整理するために、社会福祉センターの委託期間と合わせている。



トレーニングルーム

産業建設委員会

「えちぜんし割」の実績と効果は

問 物価高騰対策事業として、令和3年度及び4年度に実施した「えちぜんし割」発行の実績と効果は。

答 実施後に行った市内事業所へのアンケートによると売上が2割伸びた、ふく割使用者が8割程あった、ついで買いをするお客様があった等の声をいただいた。武生商工会議所および越前市商工会からは「えちぜんし割」発行が市内の消費回復に有効であるため、再度の実施要望を受けていた。

中小企業への今後の支援事業の方向性は

問 新型コロナウイルスの影響や社会情勢の変化により利子補給の支援だけでは不十分な部分もある。中小企業に対する今後の事業の方向性は。

答 中小企業の厳しい現状は認識しており、利子補給制度に加え、新たに省エネ設備トライアル促進事業補助金やえちぜんし割の発行を行うとともに、産業振興の様々な支援制度を設けている。引き続き武生商工会議所、越前市商工会、企業訪問時等のご意見を踏まえ、柔軟な企業支援に努めていく。

将来的計画を見据えた施設建設を

問 まさかどんの館屋根の音鳴りは建設当初にしっかり検討すべき。以前、武生中央公園施設への太陽光パネル設置の説明を受けたが、屋根の音鳴り防止対策としての太陽光パネル設置の有効性は。

答 県内の工場で音鳴り防止のために太陽光パネルを設置したが、大きな効果はないという事例があった。また、太陽光パネルは設置コストが高く、大河ドラマ館のオープンまでに納期が間に合わないことから、今回、設置を断念した。



まさかどんの館

越前和紙事業振興の目指す方向性は

問 近年、越前和紙に対する支援が多いが、目指す方向性や全体像はどのようなものか。

答 和紙関係者を含め、今後エリア全体をどうしていくのか、これまでのイメージにとらわれず地域の方々と議論しながら事業計画を検討していきたい。



越前鳥の子紙

市民と議会との語る会

教育厚生委員会

令和5

年11月20日に、中学校部活動の週末活動移行を行っている地域クラブの活動について、剣道、ソフトテニス、美術のそれぞれの代表者と意見交換会を開催しました。



意見交換会の様子

より全国の自治体に対して要請がなされていますが、その実施内容などについては、各自自治体に委ねられています。

市では、少子化の中でも子ども達がスポーツや文化に親しむことができる機会を作ることに、楽しさと喜びを感じて自己実現を図る活動を行うこと、地域で持続可能な多様なスポーツ・文化活動を行い、体験を増やしていくことの3つを方針として地域移行に取り組んでいます。

議員からは、指導者確保の問題等について質問がありましたが、現在、本市においては指導者同士のつながりを生かすことで、指導者の確保だけではなく、質の向上にもつながっているとのことでした。このほか、武道館の冷暖房の設置や、練習会場が試合などで使用できない時の代替場所の確保などの課題がありました。

市議会議員研修会を開催

人口減少時代における市の今後を考える

1月30日、福井県立大学・地域経済研究所の佐々井司氏をお招きし、「人口減少下における越前市のこれからを展望する」をテーマに研修会を開催しました。

研修会ではまず日本の人口動態の現状について、戦後、コロナ禍前後でどのように変化が生じてきたか、本市の現状などについて説明の後、質疑を行いました。

議員から「若者が都会や海外に出ていき戻ってこないのをどうすればよいか。」の質問には、「若者が戻りたくなるよう、地域の魅力を磨くことが重要であり、出ていく人を止めなければならぬということではない。」との回答を、また、「Uターンを促すためには、市の魅力を発信するだけではなく、迎え入れる人の意識改革も必要なのではないか。」との質問には、「年配者の考えは昔とは変わってきており、若い世代と親世代のコミュニケーションが必要。」との回答をいただきました。

市議会では、今回の研修を生かし、市の施策の基本となる人口減少の現状と課題を念頭に、本市の強みを生かした施策となるよう議論を深めてまいります。



議員研修会の様子

産業建設委員会

令和5年12月26日、産業建設委員会と議会モニターとの語る会を開催しました。今回は、森林環境譲与税をテーマとして開催し、本市における森林環境譲与税の活用について産業建設委員長からの説明後、3グループに分かれて意見交換会を実施しました。

意見交換の中で共通して出た課題としては、所有者自身森林の境界が分からず、世代を重ねるごとにさらに曖昧になってしまっていることや、林業従事者の高齢化の進展やなり手不足により、森林整備が不足していることなどが挙げられました。

また、譲与税の使用用途については、針葉樹林だけでなく、広葉樹林の植林も進めることで、クマやイノシシがエサ不足から人里に下りてくるのを防ぐこ



道路沿いで伐採

と、林道、作業道の整備によって人の出入りを頻繁にすることで、森林の荒廃と鳥獣害を防止するなどの意見が出されました。

教育厚生委員会

令和5年10月25日、教育厚生委員会と議会モニターとの語る会を開催しました。今回は、公民館における社会教育をテーマとして開催し、公民館の役割や、公民館の歩みや今後の課題等について教育厚生委員長からの説明後、3グループに分かれて意見交換会を実施しました。

主な内容としては、公民館と自治振興会の関係性について意見がありました。本市においては、条例で「公民館は社会教育法第22条に定める事業と地域自治の振興を図る事業を行う」と定められており、公民館主事が社会教育事業と自治

振興事業の両方を担うことになっていきます。しかしながら各地区ごとに関わり度の合いが異なるため、在り方について、全体的な議論、整理が必要ではないかとのことでした。また、近年の定年延長などにより労働年齢が上がっていることから、これまで定年後に公民館活動に参加していたものが、年齢の上昇により、積極的な参加が困難になっていることや、全体的に利用者人数の減少と、固定化が進んでいることなどが問題として挙げられました。そのうえで、公民館の利用者を増やすためにはどうしたらよいのかについて、話し合いました。

議会モニターとの語る会

大河ドラマ「光る君へ」放送開始

1月7日、いまだて芸術館にて、紫式部を主人公とした大河ドラマ「光る君へ」の初回放送パブリック・ビューイングが開催されました。当日は、多くの市民と市議会議員も参加し、思いを共有し、盛り上がりました。この放送がきっかけとなり、県内外から多くの方がこの越前市を訪れていただくことを期待しています。



パブリック・ビューイング

福井県市議会議長会 議員研修会

1月19日、小浜市文化会館にて、福井県市議会議長会議員研修会が開催されました。本年度のテーマは「地方自治法の一部改正について」で、全国市議会議長の篠田光洋氏を講師にお招きしました。

今回、地方自治法が改正されたことにより、これまではっきりと定義されてこなかった地方議会の役割および議員の職務が明確化されました。議会を「議事機関」として位置付け、重要な意思決定に関する議決を行うことや検査その他の権限を行使することが明文化されました。これにより、住民の議会への関心・理解を深め、活力ある議会の実現契機とすることが期待されています。

また、請負禁止の範囲の明確化および緩和がなされました。これは、立候補の阻害要因の一つとなっていた禁止対象となる自治体からの請負範囲の不明確さを



小浜市文化会館での研修

改善すること、全国で問題となってきた議員の成り手不足を解消しようとするものになります。

その他に、議会における各種手続のオンライン化が可能になるなどの改正もなされました。

今後も、「多様な人材が参画し住民に開かれた議会」の実現を目指し、知見を深めるとともに研鑽してまいります。

被災された皆様に 心よりお見舞い申し上げます

市議会議員が災害義援金の 呼びかけ(募金活動)を行いました

市議会では、能登半島地震により被災された方々への支援として、1月27日、越前たけふ駅および武生薬市で、議員による募金活動を行いました。

市議会では、今回の地震による被害規模が大きく長期に及ぶものとなっていることから、能登半島地震に対する支援について、市議会議員全員で話し合い、被災された方の生活が一日も早く平穏に復す一助になればと考え、募金活動を行うこととなりました。

連日の雪により、足元が悪く寒い中ではありましたが、総額20万479円の募金が集まりました。今回募金いただいた災害義援金は、越前市議会からの義援金と合わせて、日本赤十字社石川県支部にお送りしました。ご協力、ありがとうございました。

市議会では、市当局と連携し、被災地域の一日も早い復旧・復興に向け、支援に努めてまいります。



越前たけふ駅での募金活動



武生薬市での募金活動

市職員が被災地で 災害支援を行っています

本市では、能登半島地震の被害に遭われた各自治体からの要請に応じて、市職員を派遣しています。

被災地では、給水車による応急給水をはじめ、災害ゴミの受け入れ支援、補助金受付業務や避難所支援などさまざまな支援業務に従事しています。



応急給水(石川県中能登町)



災害ゴミ受け入れ支援(石川県七尾市)

3月定例会日程

月日	時間	会議名	こしの都ネットワーク再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
2月21日(水)	午前10時	本会議(提案理由説明)	2月22日(木) 午後6時
26日(月)	午前10時	本会議(質疑)	2月27日(火) 午後6時
27日(火)	午前10時	本会議(質疑)	2月28日(水) 午後6時
3月1日(金)	午前10時	本会議(一般質問)	3月6日(水) 午後6時
4日(月)	午前10時	本会議(一般質問)	3月7日(木) 午後6時
5日(火)	午前10時	本会議(一般質問)	3月8日(金) 午後6時
6日(水)	午前10時	本会議(一般質問・予備日)	3月11日(月) 午後6時
7日(木)	午前10時	教育厚生委員会	
8日(金)			
11日(月)	午前10時	産業建設委員会	
12日(火)			
13日(水)	午前10時	総務委員会	
14日(木)			
15日(金)	午前10時 午後1時30分	議会活性化特別委員会 公共交通対策特別委員会	
18日(月)	午後1時	議会運営委員会	
21日(木)	午後2時	本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)	3月22日(金) 午後6時

議会中継は こしの都ネットワークや インターネット・スマートフォン でもご覧いただけます

こしの都ネットワーク の場合

こしの都ネットワークで議会放送を見るときは92チャンネルです。議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

【通常放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch

【議会放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch 議会放送
092ch 議会放送(重なった場合)
093ch

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。



インターネット・ スマートフォンの場合

本会議の録画映像は**見たいときにいつでも議員ごと**に見ることができます。議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

①越前市議会をクリック

